

## 平成 30 年度 吹田市地域医療推進懇談会 作業部会について

1 平成 30 年度の作業部会の趣旨

吹田市地域医療推進懇談会での議論において、在宅医療における訪問看護の果たす役割の重要性についての意見が出された反面、訪問看護の人材確保や人材育成、事業所同士あるいは病院との連携等についての課題も挙げられました。

また、病院の医師や看護師等の在宅医療に関する理解促進や退院支援の充実も大きな課題の一つとされています。

一方、一部の病院において、病院も在宅医療の一員であるとの認識のもと、病院の看護師と地域の訪問看護事業所等との連携についての取組も増えてきています。

それらを踏まえ、在宅療養患者を支える看護職の連携促進と訪問看護の活性化等のための具体的対策について、作業部会にて議論を行います。

2 構成員

懇談会委員の病院の看護部長（5）

（大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、  
済生会千里病院、済生会吹田病院）

吹田市介護保険事業者連絡会訪問看護部会（2）

大阪府訪問看護ステーション協会豊能ブロック教育ステーション（1）

大阪府吹田保健所（1）

3 作業部会の組織

部会長を置かず、進行は市が実施

4 作業部会での論点

訪問看護師の人材確保及び人材育成について

病院看護師と訪問看護師の連携について 等

5 回数 3回開催

## 【1回目】

- ・これまでの議論の振り返り（訪問看護からみた課題）
- ・病院看護師からみた課題
- ・病院及び訪問看護（事業所連絡会、協会）が行っている取組みの現状
- ・どのような対策が必要か

## 【2回目】

- ・対策の方向性について
- ・いくつか具体的に議論

## 【3回目】

- ・いくつか具体的に議論